

「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会」が先月末、これまで検討してきた設計法の概要をついに発表し（本紙12月5日号7面既報）、伝統的構法の設計に対するハードルの低下が期待されている。一方、省エネルギー基準の適合義務化に向けた動きなど、向かい風となりがねない動きも見られる。日本の伝統的木造建築の先行きは果たしてどうなるのか。設計と並行して、伝統構法から政治、環境問題に至るまで鋭い視線で分析・執筆を続ける、江原幸吉・木の建築設計代表に話を伺った。

法で伝統を否定

するのは矛盾

「伝統的構法の設計法ができるということについて、どうお考えになりますか。」

江原 ある程度難しいのは仕方ありませんが、今の限界耐力計算による方法よりは使い

やすいものが出てくればありがたいと思います。設計者が自分で確認できると同時に、消費者に対し、こういう形でできると示せるようになります。現状では時間もお金もかかり、施工の負担が大きすぎます。伝統木造に

相当の思い入れがある施工主が実現できません。それが、設計者が自信を持って勧めることができ、施工主が望まば建てられる状況になってほしいです。

また、2007年の建築基準法改正によって、クライアントがい

るのに足踏みしている。現行の建築基準法（2000年住宅）職人さんたちも関西に準法内でもいいと考えはいるようなので、彼らに早く仕事できるよ

うになればいい。これまででは関東と関西では法的な位置付けをもちますが、現在の建築基準法の中で、技術基準を設ければよいと思

います。議員に対するロビイ活動も行っているとお

なっています。江原 07年の基準法改正の際、国土交通省の審議官に対し、それをやっつけたいという意見を述べました。ただ、建築関係者だけに伝えて

もあまり波及効果がなないので、インターネットの市民ニュースサイトの記事を書くように

なり、仲間と共に国交大臣を始め多くの議員に働きかけて、「伝統的木造が危機にある」ということを認識してもらいました。

法律における位置付けはテクニクの問題

なればよいという点で望まれるという点が望ましいでしょう。そもそも、人の営みとしてスマートハウスを何の批判もなしに受け入れることがいいのか。もちろん、スマートハウスを否定するわけではなく、望む人はそういう生活をすればいいし、技術の発展は必要ですから

はアウトになってしま

うことがおかしい。またスマートハウスにしても、設備の更新が必要で、それに費用がかかりま

す。住み手が1回当たりの数百万円の費用を払

い続けるでしょう。また、電気設備だけでなく、建物は雨漏りや外壁の塗り替えも必要にな

るし、配管も更新する必要があります。ここで終わってしま

す。現場での納まりはどうしようとか、いろいろ考えるから工夫されるのです。今の国のやり方は、職人に考

えるのをやめろと言っているようなもの。作っている本人が責任を持って作らないとい

いものはできません。ものづくりは審議会で交わされる荒唐無稽な空論よりも、現場の智慧の方がはるかに重要

です。江原 現場の智慧からものづくりを考えろ

新しい省エネ基準で、伝統的構法について検討するとされてお

か。また、省エネ

なっています。江原 07年の基準法改正の際、国土交通省の審議官に対し、それをやっつけたいという意見を述べました。ただ、建築関係者だけに伝えて

もあまり波及効果がな

ないので、インターネットの市民ニュースサイトの記事を書くように

なり、仲間と共に国交大臣を始め多くの議員に働きかけて、「伝統的木造が危機にある」ということを認識してもらいました。

法律における位置付けはテクニクの問題

設計法・エネ ルギー問題 で伝統構法はどうなる？



江原幸吉氏（木の建築設計代表）に訊く

江原 現場の智慧からものづくりを考えろ



を 技をつなぐ

現場の智慧からものづくりを考えろ

新しい省エネ基準で、伝統的構法について検討するとされてお

か。また、省エネ

なっています。江原 07年の基準法改正の際、国土交通省の審議官に対し、それをやっつけたいという意見を述べました。ただ、建築関係者だけに伝えて

もあまり波及効果がな

ないので、インターネットの市民ニュースサイトの記事を書くように

なり、仲間と共に国交大臣を始め多くの議員に働きかけて、「伝統的木造が危機にある」ということを認識してもらいました。

▼江原幸吉氏ホームページ
http://www.kinokenchikubiz/ 木の建築設計ホームページ
http://www.kinokenchikubiz/